

NEWS TOPICS

町なみ再生シンポジウム開催します！

日時：3月20日(日)13:20~16:30 会場：堺市総合福祉会館 大研修室(堺区南瓦町2-1)

テーマ：「歴史的景観とまちづくり ～「都市」の記憶を取り戻すために～」

1部の講師の方の基調講演の後、2部では、参加者も交えて、質問や意見交換をし、私たちに何ができるか考えます。

<基調講演>

「〇〇〇〇したまちに、〇〇〇〇〇〇が、する。～宇陀松山の暮らしとまちづくりの話～」

宇陀市建設部まちづくり推進課 森本陽子氏

「文化的景観として見た堺環濠都市 ー自然、歴史、生業から都市と建築をとらえるー」

京都工芸繊維大学教授 清水重敦氏

「伝統的な木造建築の耐震性を考える ー構造実験の現場からー」

関西大学教授 西澤英和氏

皆様のご参加をお待ちしています。ふるってご参加下さい。なお、新型コロナウイルスの感染状況によっては予定が変更になる場合があります。参加方法については、下記のお知らせをご覧ください。

堺 環濠都市 NEWS

[ニュース]

北部

歴史的まちなみを
未来に活かすため

コロナ禍2年目の
イベント週間開催!

vol.31

INFORMATION

▶「ひな飾りめぐり」参加のお知らせ

2022年も、3月3日から4月3日まで「七まちなみ飾りめぐり」のイベントが開催される予定です。本協議会が運営する「堺町家案内所」も2017年の第7回目から、毎年参加していますが、今年も参加予定です。毎週木曜日の13:30~16:00が、公開時間ですが、期間中は公開日を追加することも検討中です。詳しくは、今後発行されるチラシをご覧ください。

▶町なみ再生シンポジウムのお知らせ (本ページ上部にも記載)

「歴史的景観とまちづくり ～「都市」の記憶を取り戻すために～」

3月20日(日) 場所：堺市総合福祉会館 大研修室(堺区南瓦町2-1)
時間：13:20~16:30

<参加方法> 募集定員：50人 要申込(氏名・住所・電話番号)、先着順
参加申込み先：TEL 072-228-0953(志賀) FAX 072-232-3358
MAIL info@sakaimachinami.jp

※予定は変更になることがあります。

▶協議会へのお問い合わせはこちら

堺環濠都市北部地区町なみ再生協議会

TEL 072-228-0953[志賀]

MAIL info@sakaimachinami.jp

▶「まちなみ修景補助制度」へのお問い合わせはこちら

堺市 建築都市局 都市計画部 都市景観室

TEL 072-228-7432

FAX 072-228-8468 担当：石間、加賀山、田中

今号の表紙

今号の表紙も元禄堺大絵図の模写本の一部で、主に現在の錦之町と柳之町の西部です。環濠都市を南北に貫く大道筋(たいどうすじ)つまり紀州街道から、2本西に入ったところが、いわゆる中浜筋(なかはますじ)で、絵図の右端に「錦町中濱」「柳町中濱」と書かれているところから、中浜筋を北に行くと北旅籠町の「鉄砲鍛冶屋敷」の前に着きます。また、ニュース29号表紙の絵図にある桜之町と同様、この絵図の海側にも「木屋」を名乗る家が多く見られることが注意を引きます。「木屋」とは、もともと、材木を収納する倉庫のことを言うそうですが、絵図のほぼ中央に、「炭屋五郎兵衛」の大きな屋敷地もあり、木材関連の事業者の存在が伺われます。後年、この地域に複数の炭問屋や薪炭商店が創業されていることも考え合わせると、地域の性格を理解する上で大変興味深いことであると思われます。



「元禄堺大絵図模写本」【部分】(堺市博物館蔵)

前号NEWS発行から
現在までの進捗情報

今年度も、町なみ再生イベント週間(10/28~11/3)を開催しました!

コロナ禍の中、昨年10月17日の総会に引き続き、10月28日から11月3日まで、町なみ再生イベント週間を開催しました。例年通り、堺町家案内所における展示と、「昔・町なみ歩こうイベント」を、七まち町家会の町家公開とタイアップして行いました。

▶展示「町家と環濠～よみがえる環濠都市の景観～」

今回は、上記展示テーマのシリーズ(I)「環濠都市の痕跡をたどる」と題して写真などの展示をしました。

本協議会のHPでも説明していますが、堺には、中世の環濠都市と近世の環濠都市が存在しました。中世の環濠都市は大坂夏の陣の際に灰燼に帰しました。また、江戸時代から続く環濠都市は、第2次世界大戦による戦火で多大な被害を被り、戦後はさらに昔の面影が年々なくなり、現代では北部地区を中心に残っているだけです。今回は、写真や地図・図面などで、北部地区における、江戸時代から戦前までの環濠都市の在りし日の姿を偲びました。



今年度は、地藏盆の行灯制作ができなかったため、大行灯の展示が無く、寂しい外観となりました。

内部の写真展示の様子(部分)です。これらの写真の一部は次のページで、ご紹介しています。

▶昔・町なみ歩こうイベント

今回は期間中の3日間(10月30日・31日、11月3日)に本地区内を日替わりメニューで、ミニまち歩きをしました。今年は、町家以外にも、旧環濠跡やその石垣、河口慧海関連の遺構にも触れました。(写真はいずれも北旅籠町西3丁)



金網越しに御旅所(菅原神社)の石の鳥居を見る。

鳥居の前の石灯籠に刻まれた寄進者の名前(中央に、河口慧海家の屋号「樽善」の名が見える。)

旧環濠跡(内川)に残された石垣。時代は近代、現存する多くの町家とほぼ同年代。

PICK UP 「町家と環濠～よみがえる環濠都市の景観～」展示写真(一部)ご紹介

イベント週間に堺町家案内所に展示した写真の一部をご紹介します。写真をご覧になった方々には、大変好評で、イベント週間終了後も堺町家案内所で、引き続き展示しています。



A/B. 河口慧海生家跡の石碑と六間筋(北旅籠町西) [昭和51年]

F. 戦後再開した芝居小屋・櫻館(桜之町西)



C/D. 九間町東1丁の六間筋 [昭和52年]

E. 清学院のある六間筋(北旅籠町西) [昭和51年]

[F・Gは、紀川家提供。その他は、森内正己氏撮影]

「堺まちなみ修景建物」プレートについて

最近、修景された町家などの建物に、写真のような、堺環濠都市北部地区町なみ再生協議会のロゴマークの入った小さな正方形(12cm×12cm)のプレートが取り付けられているのをご覧になったことはありませんか?

このプレートは、真鍮製で黒地にゴールドでロゴと文字が書かれています。ロゴの下に「堺まちなみ修景建物」と「堺環濠都市北部地区」と書かれていることからわかるように、まちなみ修景補助制度を利用して修景された建物に堺市から配布されたものです。

ちなみに、このロゴマークは円が環濠を表し、その中に直線で書かれた「堺」の文字が町割りの道筋を象徴しています。

